

一般質問

地方創生の理念と現状認識について



藤田一則議員

答弁：東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めを掛け、日本全体の活力を上げることを目的とした一連の政策であると理解している。

《藤田議員》

①まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、各市町村に「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を努力義務としながらも策定するよう通知があり、我が町でも策定から5年経過したが、この間、具体的に実施した事業は、また次に向けての策定と現状はどうか。更に厳しさを増したと思うが、状況をお知らせ願いたい。

《町長》

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」は、国が地域の特性を生かし、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施する指針として国から策定を求められたもので、当町においても平成27年12月に同年度を含む5か年を目標年次とし「深浦町人口ビジョン・総合戦略」を策定した。

これまで実施してきた事業については、総合戦略の基本目標に掲げた4つの目標実現に向けた具体的な施策として、

62項目にわたる事務事業を町として推進。代表的なものとして、平成29年度に「ふかうら地域産物PR販売拠点施設整備事業」を地方創生拠点整備交付金で実施したほか、産業・雇用対策、移住・定住対策、少子化対策、地域活性化対策に関連した各事業を実施している。

町では、次期「深浦町人口ビジョン・総合戦略」の策定に向け、現行の総合戦略の達成状況や検証、素案の内容については協議・検討中であり、5年間の具体的実施状況については、次期人口ビジョン・総合戦略の内容を報告する際、併せて示したい。

《藤田議員》

②「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」には、産・官・学・金等の団体にも参画を求めて地方創生を進め、地方も国も共通の危機意識を持って、国民運動として地方創生の意識を更に高めるといふ目的があると思うが、町はどう認識



▲ふかうら地域産物PR販売拠点施設「深浦まるごと市場」

しているか。

また、他団体との地方創生についての話し合いはあったのか。

《町長》

町の長期的政策目標の設定については、平成27年3月に第二次総合計画を策定し、各施策の実現に向け具体的な事務事業を掲載し、毎年の予算に反映している。この総合計画はもとより、「人口ビジョン・総合戦略」においても、事業の評価・検証を行う仕組みとしてPDCAサイクルの手法を用いており、総合計画

の後期計画及び次期「人口ビジョン・総合戦略」策定時活用したいと考えている。

「人口ビジョン・総合戦略」策定においては、総合計画には義務付けられていない各施策の具体的な数値目標、重要業績評価指標（KPI）が設定されており、産・官・学・金による深浦町総合戦略検討委員会を設置し、委員からの意見も聴取しながら、施策内容や目標数値・KPIを設定している。

●PDCAサイクルとは
各施策・事業において、計画、実行、評価、改善のサイクルにより継続的に改善を図りながら業務を円滑に進める手法。

●KPI（重要業績評価指標）とは
組織目標を達成するための重要な業績評価の指標。

《藤田議員》

③地方創生とは、今までの地方活性化や地域振興、補助金とは全く異質なもので、自治体の本気度、危機意識・ビジョンが試されているような気がする。

従来の縦割りの取組を排し様々な分野における官民協働や地域間連携を図ることで、地域の総合力を最大限発揮することが大事である。

国の経済状況と財政状況と合わせて、大災害などのマイナス要素も加わり、更に厳しさを増している中で、この地方創生は最後の思い切った財政出動だと思いが活用できないのか。

《町長》

地方創生とは、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めを掛け、日本全体の活力を挙げることを目的とした一連の政策を指すものとして理解している。

今後、地方創生に向けた取組として何を優先事項にするかは町の財政状況をも考慮し

ながら、次期「深浦町人口ビジョン・総合戦略」とも整合を図り、関係機関と協議しながら、町として具体的に検討することになる。

我が町の地域再生計画と地方創生の実現における構造的な課題について

《藤田議員》

①水産資源の枯渇は、世界的に今後も引き続き危惧され、生産性低下に歯止めがかからないと予測、漁業の衰退はますます加速する状況にある。

基幹産業である漁業の衰退と過疎化への対策は急務であるが、漁業再生とこれからの方策はあるか。

《町長》

町では漁業振興策として、サーモン養殖事業をはじめ、水産資源の増大と所得向上を目指し、つ

くり育てる漁業に積極的に取り組み、今後はこのサーモン養殖事業の規模拡大により、次世代を担う漁業者の所得向上と、雇用機会の創出がなされることを期待している。

また、ワカメ養殖、サケやサクラマスなどの種苗放流、管内各漁協においてはアワビやヒラメ、ナマコなどの種苗放流が行われており、水産資源増大を図るため、今後も町、漁協及び民間企業が連携し、つ



▲白神川流域に増設中の中間養殖場(大間越地区)



▲サーモンの海面養殖場(深浦港湾)

くり育てる漁業である養殖漁業や栽培漁業を推進していきたい。

《藤田議員》

②町が置かれた状況が今までと違ってきているのに、いつまでも同じ長期計画を続けるのは計画ではないとの指摘がある。何を優先し何に期待するか、このことを考えるのが地域再生である。

地方創生、地域再生に向け、町長にリーダーシップを発揮してほしい。

《町長》

地方創生の目指す姿である地域の人が自ら地域の未来に希望を持ち、個性豊かで潤いある生活を送るため、農業振興、経営の安定化、水産振興、子育て支援の充実、地域医療の充実、障害者・高齢者の生きがい活動支援、自然エネルギーの推進、災害に強いまちづくり等を推進し、町の施策に反映している。今後国への支援等を活用しながら、人口減少対策、住民の所得向上に向けた施策に取り組みたい。

